

■執筆者紹介（執筆順）

寄川条路（よしかわ・じょうじ）

序章、終章

1961年生。明治学院大学教養教育センター教授。専攻は哲学・倫理学。著書に『ヘーゲル——人と思想』（晃洋書房、2018年）、筆名（紀川しのろ）で『教養部しのろ教授の大学入門』（ナカニシヤ出版、2014年）など。

小林 節（こばやし・せつ）

第1章

1949年生。慶應義塾大学名誉教授・弁護士。専攻は憲法学。著書に『憲法の真髄』（共著、ベストセラーズ、2018年）、『女子高生が憲法学者小林節に聞いてみた。憲法ってナニ!?』（ベストブック、2018年）など。

丹羽 徹（にわ・とおる）

第2章

1961年生。龍谷大学法学部教授。専攻は憲法学・教育法。著書に『子どもと法』（編著、法律文化社、2016年）、『戦後法学と憲法——歴史・現状・展望』（共著、日本評論社、2012年）など。

志田陽子（しだ・ようこ）

第3章

1961年生。武蔵野美術大学造形学部教授。専攻は憲法学・言論法。著書に『「表現の自由」の明日へ——一人ひとりのために、共存社会のために』（大月書店、2018年）、『文化戦争と憲法理論——アイデンティティの相剋と模索』（法律文化社、2006年）など。

太期宗平（だいき・そうへい）

第5章

1976年生。2007年弁護士登録（60期）。ベリーベスト法律事務所パートナー弁護士。特に注力している分野は労働、会社関係訴訟、破産・民事再生手続など。